

「事業を通じた社会課題の解決」に関するマテリアリティについて、下表の通り、各々のKPIを定義しています。

マテリアリティ	KPIの考え方	対象範囲
はたらく機会の創出	人材派遣・BPO事業は原則、年度末稼働人数（もしくは各月平均稼働人数）。紹介予定派遣事業は派遣から社員になった方の年間累計人数。人材紹介事業は、サービス経由の就職件数の年間累計数を集計。その他（フリーランス等）は当社サービスを通じて役務提供した人数（年間累計人数、ただし同一人物による複数案件は1とカウント）。Career SBUの求人広告事業は推計値。	Staffing SBU（パーソルテンプスタッフ、パーソルエクセルHRパートナーズ、パーソルファクトリーパートナーズ、パーソルマーケティング、パーソルワークスデザイン）の人材派遣・人材紹介サービス、Technology SBU（パーソルクロステクノロジー、パーソルプロセス&テクノロジー、パーソルAVCテクノロジー）に関連する事業、Career SBU（パーソルキャリア、パーソルキャリアコンサルティング、ベネッセi-キャリア）の人材紹介サービスおよび求人広告事業、APAC SBU（Programmed Maintenance Services Limited、PERSOLKELLY）の人材派遣、BPO、人材紹介事業。ベネッセi-キャリアについては、連結外であるが、事業管理の目標とするためベネッセi-キャリアも算定対象とする。
多様なはたらき方の提供	フレキシブルなスケジュールで勤務できる形態として、人材派遣事業（事務職）のうち、フルタイムでなく、週35時間未満の稼働者数をカウント（年度末/3月末実稼働者人数）。場所を問わない形態での就労機会として、人材派遣事業（エンジニア）のうち、フルリモート派遣の人数をカウント。いずれも年度末時点の実稼働者数。副業やフリーランス（スキマ時間の有効活用）形態の就労機会として、委託業務契約を通じて、業務のマッチングが成立した人数（年度累計人数、ただし、同一人物による複数案件は1とカウント）。	パーソルテンプスタッフ、パーソルクロステクノロジー、パーソルキャリア
学びの機会の提供  (1. 派遣社員向けの学びの機会の提供)	パーソルテンプスタッフにおける主に派遣スタッフ、アウトソーシング事業登録者向けの研修で、改正派遣法の法定研修等、法定研修以外の独自開催研修を受講した人数/延べ受講数をカウント。入社時研修、情報保護研修、安全衛生関係等は除く。 同様に、Technology SBUは、登録エンジニア向けの教育で、ビジネススキル研修と業務に特化したコンテンツの研修を受講した人数（受講アカウント別）。	Staffing-SBU（パーソルテンプスタッフ、パーソルフィールドスタッフ、パーソルエクセルHRパートナーズ、パーソルファクトリーパートナーズ、パーソルマーケティング、パーソルテンプスタッフカメイ、アヴァンティスタッフ、ジャパンプロスタッフ）、Technology-SBU（パーソルクロステクノロジー、パーソルAVCテクノロジー）
学びの機会の提供  (2. アップスキリングやキャリア自律を目的とした企業研修、アップスキリング後の人材紹介サービス)	国内は主に企業向け研修の受講者数をカウント。集合研修については、売上高に基づき受講者数を推計。e-ラーニングについては、発行したIDより受講者数を集計し、1年間の人数とするが、1人で複数受講した場合は1人とカウントする。海外は人材紹介を前提としたアップスキリング研修の年間受講者数。	パーソル総合研究所およびProgrammed Maintenance Services Limited
学びの機会の提供  (3. 学生・社会人向けの学びの機会の提供（出張授業、キャリア講座等）)	当社グループが提供しているキャリア教育を受講した小中学校（出張授業）および大学生（キャリア講座）の人数。年間累計人数、ただし、一人が複数受講した場合は、1人とカウントする。Career SBUの社会人向けのカウントは今後検討。	Career SBU、Technology SBU
企業の生産性向上	原則、売上高のうち請負受託売上高を計上。Staffing SBUは事務、R&D（理系・研究職等）、マーケティング、PPG（注）にかかる請負受託金額、BPOは主に、データ入力や給与計算、総務、人事などノンコア業務の請負受託金額。テクノロジーは、IT、機械・電機設計のうち、アウトソーシング（請負）として受注した金額を対象としている。 （注） パーソルエクセルHRパートナーズ、パーソルファクトリーパートナーズを便宜上、PPGと呼称しています。	全SBU（Career SBU除く）